



別所俊一郎 准教授

専門:財政学、公共経済学

(インタビュアー:山本・長山)

『統計的な手法を用いた財政分野の実証分析』

Q. 別所先生の専門とされている研究内容はなんですか？

財政学です。ゼミでは、日本の財政分野の実証分析を行っています。より広く言えば、日本の家計、市町村、都道府県がどういった行動をとっているのか。私自身は統計的な手法を用いて、研究を進めています。そのためこの手法を教えるのが1番手っ取り早くはあるのですが、強制はしません。他の手法もお教えしますよ。

私自身は現在、労働所得税が労働供給にもたらす効果の測定。市町村の出す補助金がインフルエンザを予防しているかどうか、といった分析をしています。

『身の回りの興味あることを経済的にみていく』

Q. 別所先生の教育理念を教えてください

できることをちゃんとやってもらう。

経済学部の中で財政学はまだ身近でないし、楽しさが伝わらないと思います。そのため身の回りで起きていること、興味を持っていること、それに対して経済学的なものの見方や統計的な手法の使い方を、ちゃんと使えるようにしたいと思っています。

『シンクタンクへの就職を経て、大学院へ』

Q. 別所先生の学生時代のお話を聞かせてください

どちらかと言えばまじめ、といった程度で授業に出ていましたね。あとサークルで山に出かけたり、遊んだり飲んだりしていました。オリエンテーリングという種目をやってみまして、林の中を駆け回ったりしていましたね。

経済学って、学生の間にはよくわかんなかったですね。その後民間のシンクタンクに就職して、調査系の仕事をしていたのですが、これではいかんと思いま

して。それで大学院のほうに進み、経済学を深く学んでいきました。学生には、そのまんまの経済学って興味わかないと思うのですよね。マクロとかミクロとか…例えば ISLM モデルとかって、解けることは解けますよね。1 次方程式です。ですけど、それがなにを言っているのかってわかりづらい。

『いろいろな学生に来てほしい』

Q 別所ゼミを志望する 2 年生に求めるものは何ですか？

いろんな学生に入ってきてほしい。日吉時代にしっかり勉強してきた方もいいですし、元気だけある、といった方もいいな(笑) 様々な背景を持っていてほしいですね。あ、ただゼミを欠席することはやめてほしい。

『いろんな経験をして、自分のやりたいことに沿った行動を』

☆最後に 2 年生へのメッセージをお願いします☆

あと半年間、しっかり勉強してきてほしい。それに加えて、いろんな経験をしてきてください。そして、ゼミに入ったからにはしっかり研究してほしい。ゼミに入っていないと就活が、三田での居場所が…ということではなく、しっかり自分のしたいことを考えて、それに沿って行動してください。